

堺市民芸術文化ホールビュッフェカウンター運営業務 仕様書

1 目的

この仕様書は、堺市民芸術文化ホール（以下「フェニーチェ堺」という。）におけるビュッフェカウンター運営業務について、公益財団法人堺市文化振興財団（以下「甲」という。）が、専門知識、経験及び実績を有する事業者（以下「乙」という。）と締結する協定に基づき、当該業務を円滑かつ効率的に遂行し、フェニーチェ堺の利用者満足度を高めることを目的に、業務実施における必要事項を定めるものである。

2 業務名称

堺市民芸術文化ホールビュッフェカウンター運営業務

3 業務実施場所

（１）住所

堺市堺区翁橋町２－１－１ フェニーチェ堺

（２）概要

２階大ホール内ビュッフェ（倉庫スペース及び飲食用スペースを含む）

別紙１－１、１－２の図面のとおり 営業面積１２７．５４㎡

4 業務実施期間

協定の締結日以降で甲が指定する日から令和３年（２０２１年）３月３１日まで（食品衛生法に基づく食品営業許可を取得し、実施期間前の準備行為を含む）。なお、業務の運営は、大ホールを利用する公演事業の開催日のうち、甲が主催又は共催する公演事業及びその他甲の指示する日に行うものとする。

業務実施期間は、協定書第８条第２項及び同条第３項の規定に基づき、甲乙協議を行った上で、最長で令和６年（２０２４年）３月３１日まで延長することができる。

5 基本方針

（１）適切な業務遂行

フェニーチェ堺の設置目的及び運営方針を理解した上で、的確かつ効率的な業務を行うこと。また、災害・感染症等発生時にフェニーチェ堺が求められる機能を維持できるよう、施設の職員と協力・連携し業務維持体制を構築すること。

（２）関係法令・制度の順守

食品衛生及び廃棄物関係法規、個人情報保護に関する各法令及び制度を遵守し、適正な業務遂行及び取扱いを行うこと。

(3) 食中毒の防止対策

堺市食品衛生法施行条例（平成12年条例第22号）で定める管理運営基準に則り、食中毒の防止のため適切な措置を講じること。

(4) 省エネ・省資源

省エネルギーや省資源など環境負荷への低減を心がけて業務を実施すること。特にプラスチックごみについては、昨今の社会情勢を踏まえ、削減に努めること。

(5) 利用者サービスの向上

- ① ビュッフェ利用者に対して、常に最良の接遇を行うことを意識し接すること。
- ② 適切な身だしなみ、言葉遣いをする。
- ③ 業務従事者に対し、接遇研修を行うこと。
- ④ ビュッフェ利用者からの苦情等に対し、責任ある対応と改善を行うこと。

6 業務内容

(1) 飲食物の提供

業務履行場所において、大ホールを利用する公演事業の開演前や幕間に、施設利用者が非日常的で良質なひとときを過ごすことができるよう、ドリンク（アルコール飲料可）や、例としてケーキや焼き菓子などの軽食を提供すること。また、開演前や幕間の時間には限りがあるため、サービスの提供は迅速に行うこと。

飲食物の販売に当たってはアレルギー表示を行い、また、未成年者に対するアルコール類の販売は絶対に行わないこと。

(2) 施設設備及び備品の適正な取扱い

ビュッフェスペース内（倉庫を含む）の設備、備品は、堺市から甲に貸与のあったもの、乙の責任と負担により用意したものにかかわらず、善良な管理者の注意をもって適正に取扱うこと（堺市からの貸与備品一覧と諸注意事項は別紙2のとおり）。

乙の責任と負担により用意する設備、備品については、事前に甲に申請し、承認を受けること。また、配置する備品等は、施設の意匠に配慮した品質とすること。

(3) 許可申請手続き

堺市保健所等への許可申請などの手続きは、甲と調整の上、乙の責任と負担により行うこと。

7 業務体制

(1) 業務責任者の配置とその責務

- ① 本業務の履行に当たり、業務責任者を1名配置し、甲へ報告すること。
- ② 全ての業務に対し知識を有している者であること。
- ③ 全ての業務が円滑かつ効率的に遂行できる体制を構築し、業務従事者に対して的確な指揮命令を行うこと。

- ④ 本業務の履行に当たり問題が生じたときは、速やかに対処し、対策・改善を行うこと。
- ⑤ 甲へ定期的に業務連絡を行い、問題点の抽出・改善を行うこと。
- ⑥ その他、甲へ必要な報告、連絡、相談、確認を行うこと。

(2) 食品衛生責任者の配置とその責務

- ① 本業務の実施に当たり、食品衛生責任者を配置すること。
- ② 食品衛生責任者は、業務責任者と協力して業務従事者に対して的確な指揮命令を行うこと。
- ③ 業務責任者が食品衛生責任者を兼ねることは妨げない。

(3) 業務従事者の配置

- ① 本業務の履行に十分な人数の業務従事者を配置すること。
- ② 業務従事者は、業務履行前に乙が実施する研修等を受講するなどし、業務に必要な知識、能力を備えてから配置すること。
- ③ 甲が、業務従事者について業務上不適当と認めたときは、迅速に交代等の対応をとること。

8 業務計画書及び業務報告書の作成

(1) 業務計画書

本業務はフェニーチェ堺に係る指定管理業務であることに留意し、次のとおり対応すること。

乙は毎年度、飲食物のメニューや提供料金などの内容、売上目標、業務従事者の体制等を含む年次計画書を甲に提出し、承認を受けること。年次計画書は、初年度分は協定締結後速やかに、その他の年度分は各年度開始日（４月１日）の２０日前までに提出すること。

年度途中における業務計画書の変更は、甲乙双方の協議の上決定するものとする。

(2) 業務報告書

乙は、飲食物の提供内容、売上実績、業務従事者の体制等を含む月次報告書を当該月の翌月１０日までに甲に提出し、確認を受けること。また、各月の報告内容をまとめた年次報告書を、各年度終了日（３月３１日）から１５日以内に甲に提出し、確認を受けること。なお、最終年度における３月分月次報告書及び年次報告書は、当該年度の３月３１日までに提出すること。

9 検査

堺市及び甲は、必要に応じて本業務の運営、設備、備品の使用状況について検査を行う

ことができる。

検査の結果、この仕様書の記載内容と適合しない部分について甲又は堺市から改善指示があった場合は、直ちに当該部分の改善を行い、再検査を受けなければならない。

1 0 経費負担区分及びリスク分担表

別紙 3 のとおり

1 1 損害賠償区分

業務の遂行、業務の引継ぎ、個人情報の取扱いにおいて、乙の業務怠慢、故意又は重大な過失により、甲や堺市、又は第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。

1 2 禁止事項及び留意事項

- (1) 業務従事者の通勤に自動車、自動二輪車、自転車を使用するときは、施設内の駐車場及び駐輪場の利用は禁止とし、施設外の駐車場又は駐輪場を確保すること。
- (2) 施設利用者に提供する飲食物又は乙の責任と負担により準備する備品を運搬するための車両については、甲の指示する場所に一時的に停車することができる。
- (3) 施設内での喫煙は、必ず甲が指定する場所で行うとともに、受動喫煙の防止に努めること。
- (4) 施設内での飲食は、必ず甲が指定する場所で行うこと。

1 3 勤務環境

- (1) 業務従事者に対して、甲の承諾を得た被服を着用させること。
- (2) 被服は、フェニーチェ堺のイメージと調和し、統一されたデザインで清潔な状態と品位を保つこと。
- (3) 業務従事者は名札を着用すること。
- (4) 業務従事者が現場研修を行う際は、研修中であることを明確にすること。

1 4 業務の引継ぎ

協定の期間満了時又は協定の解除時には、業務に支障がでないよう次期事業者に対し適切に引継ぎを行うこと。なお、甲の判断により引継ぎを要しない場合がある。

1 5 その他

(1) 企画提案書の取扱い

乙から提出のあった企画提案書の内容をもとにして、業務の履行に必要な具体的条件について財団と協議を行うこととし、協議内容はこの仕様書に規定されたものとみ

なす。ただし、乙の企画提案書中財団に収める納付金に関する内容は、当該企画提案書の内容をもってこの仕様書に規定されたものとみなす。

(2) 協議事項

協定書及びこの仕様書に定めのない事項のうち、状況に応じて必要と思われる業務については、甲と乙双方で協議の上、誠意をもって行うものとする。

1.6 参考

(1) フェニーチェ堺の施設概要

敷地面積	14,333m ²
建築面積	8,758m ²
延床面積	19,650m ²
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地下1階、地上6階
主な施設	大ホール(2,000席)、小ホール(312席)、大スタジオ 小スタジオ(3室)、文化交流室(3室)、多目的室、駐車場(一般用100台)、レストラン
開館時間	午前9時から午後10時まで
休館日	・毎月第1、第3月曜日(祝日の場合は開館) ・12月29日～1月3日 ・その他保守点検を要する日
年間利用者数見込み	約47.8万人
施設設置者	堺市
指定管理者	公益財団法人堺市文化振興財団 指定管理期間：平成28年(2016年)10月1日 ～令和6年(2024年)3月31日

(2) 大ホールを使用する公演事業について

甲が主催、共催する公演事業数の目安	年間18回以上(令和元年度は44回程度)
その他甲が指示する日の考え方	甲の貸館事業において、大ホールを利用する主催者がビューフェカウンターの運営を希望する場合は、必ず実施すること。甲は、主催者との打合せ時に運営の希望の有無を確認する。 【大ホールの年間稼働率目標：80%】
公演事業における開演前の時間の目安	1時間程度
公演事業における幕間の時間の目安	20分～30分程度

※ 事業数は年度当たりの数である。

※ 令和元年度はオープニング事業の数を含む。

※ 甲は、業務の実施について、遅くとも各公演日の1か月前までに乙に通知する。